

「大阪・関西万博 復興ポータルサイト」の公開について

標記について、本日、2025年大阪・関西万博復興ポータルサイトを公開しました。

サイトでは、それぞれの速度と規模で復興を進めている各被災地に関わる、国内外の人々の様々な想いや行動が糸のようにつむがれ、被災地の未来を形づくる様子を「つむぎ、つづける」と表しています。

万博への復興関連企画出展に向けた機運醸成のため、今般のポータルサイトの公開を契機として、今後、情報発信に取り組むとともに、様々な広報を実施してまいります。

【トップページイメージ・サイトのQRコード】



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

【問い合わせ先】

復興庁 地方創生・万博班
神保・小野寺

電話：03-6328-0238

Build Back Better

つむぎ、つづける。

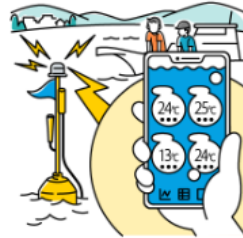
震災時、現在、そして未来へ。

「Build Back Better よりよい復興」の概念のもと、
力強く立ち上がり、歩みをつづける被災地。
未来への道しるべとなる取組、携わる方々を紹介します。



“人機一体”の「人型重機」を
開発。“人馬一体”の野馬追の地
から全国、そして世界へ。

独自技術の結晶「人型重機」でフィジカル
な苦役を無用にする…



地域の課題を解決するIT技術で
モバイルビジネスの
さらなる普及を目指す。

「ICT復興支援国際会議」を開催し、大手
企業とのビジネスマッチングを実現…



自分たちらしい支援の
一環として、
被災地に新会社を設立。

新会社の名称に込めた復興に向けた決意…



#03

一人でも多くのいのちが助かるよ
うに、地域の「出来事」と体験を
語り継ぐ。



Build Back Better #03
株式会社まいししDMC取締役
川崎 杏樹さん

profile | 茨石市の震災伝承・防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」で、「伝える」「学ぶ」「集う」という施設の役割を果たすため、自らの体験を伝える語り部活動のほか防災学習プログラムの企画・運営などに従事しています。

地元の役に立ちたいとの思いから
大震災の体験を伝える語り部に。

川崎さんは地元・茨石市麻生町出身。海外の大学を卒業後、「地元の役に立てる仕事をしたい」との思いからリターンを決意し、今の仕事に就きました。中卒2年生の時に体



#06

自分たちらしい支援の一環とし
て、被災地に新会社を設立。



Build Back Better #06
ツネインクワフト&ファンリティー
ズ株式会社代表取締役
神原 潤さん

profile | 広島県尾道市でアルミ製船艇建造・修理などを手がけるツネインクワフト&ファンリティーズ株式会社のトップ。雇用の面から被災地復興の一助を担うべく、2011年7月に若手前山田時に株式会社ティエフシー（現在はTFCやまた工場）を設立。

新会社の名称に込めた
復興に向けた決意。

「株式会社ティエフシーの設立は、人口流出の防止、雇用の創出、水産業の再生など、被災地が抱える諸問題を解決するための取組であり、私たちらしい支援の一環でした。阪神淡路大震災でもいち早くかけつけ、被災地を支援するという企業文化を継いできました。苦しんでいる被災地から目を背けてはいけないとOBからの後押しもありました」と語る